ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
E142E009	古典文学研究 (Japanese Classical Literature)		対面

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態
選択	2	3	教育学部 ≪令和２年度以降入学生用≫	前期	木2	日本語		単独

担当教員	氏名　安道　百合子 E-mail　y-andou@oita-u.ac.jp　内線　7535
授業の概要	『源氏物語』を、テキストに沿って精読し、課題を見つけて議論、考察する。テキストは、特定の人物に寄り添って本文を再編集したものを用い、本文の異同・解釈上の問題点・人物論・構想論・享受史など、多様な観点での研究方法を習得する。意見交換を経て、自分なりに研究課題を見つけ、その解決を目指す。

具体的な到達目標		DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	『源氏物語』読解のための基本的な手続きを習得する。		○						
目標2	『源氏物語』を読解、鑑賞して、説明できる。		○	○	○				
目標3	古典文学作品の教材研究ができる。		○			○			
目標4									
目標5									
目標6									
目標7									
目標8									
目標9									
目標10									
		各DPへの関連度（計10）	4	2	3	1			

授業の内容	
1	『源氏物語』の作者・成立・本文系統
2	『源氏物語』作品概要
3	藤壺（１）桐壺～若紫巻
4	藤壺（２）紅葉賀～薄雲巻
5	課題探求ー主題、不義密通
6	末摘花（１）末摘花巻
7	末摘花（２）蓬生巻
8	課題探求ー享受、絵巻・絵入版本
9	葵の上と六条御息所（１）夕顔巻・葵巻
10	葵の上と六条御息所（２）賢木巻
11	課題探求ー史的背景、物の怪
12	紫の上（１）若紫巻
13	紫の上（２）葵～明石巻
14	紫の上（３）若菜上～御法巻
15	課題探求ー人物、ゆかり

アクティブラーニング			その他の工夫
A:知識の定着・確認	○	授業時には、テーマを決めて議論したり、小レポートを課す。	
B:意見の表現・交換	○		
C:応用志向			
D:知識の活用・創造			

授業時間外学修の内容と想定時間		
	準備学修	テキスト読解の予習をする。古語辞典、源氏物語事典、など基礎文献を用いて、自分なりに読解し、課題を見出す（15h）。
	事後学修	授業での講義や意見交換などを踏まえて、再度、課題について考察する（30h）。
	想定時間合計	45

教科書	『源氏物語を彩るひとびと』（米田明美・中葉芳子著、青簡舎、2015、ISBN9784903996837）
参考書	『源氏物語を読む』（高木和子著、2021、岩波新書、ISBN9781001318859） 『源氏物語事典』（大和書房、2002、ISBN9784479840602） 『源氏物語』（小学館・新編日本古典文学全集、2004、ISBN9784096580201）ほか、適宜紹介する。

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	授業時の発言、小レポート	40%	○	○	○							
	期末レポート	60%	○	○	○							

注意事項	
備考	古語辞典、国語便覧、そのほか高校時代の古典の教科書・参考図書などを準備しておくとよい。
リンク	
URL	